

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和6年9月26日 発行

1. 発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾病	疫学週				判断基準(定点当たり)		
	35週	36週	37週	38週	警報レベル		注意レベル
	8月26日～9月1日	9月2日～9月8日	9月9日～9月15日	9月16日～9月22日	開始基準値	収束基準値	基準値
インフルエンザ [#]	2 0.67	11 3.67	1 0.33	0 —	30	10	10
新型コロナウイルス感染症 [#]	53 17.67	71 23.67	58 19.33	34 11.33	-	-	-
RSウイルス感染症	1 0.50	2 1.00	5 2.50	3 1.50	-	-	-
咽頭結膜熱	0 —	0 —	0 —	0 —	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0 —	0 —	0 —	0 —	8	4	-
感染性胃腸炎	6 3.00	4 2.00	0 —	2 1.00	20	12	-
水痘	1 0.50	0 —	0 —	0 —	2	1	1
手足口病	22 11.00	18 9.00	17 8.50	8 4.00	5	2	-
伝染性紅斑	0 —	0 —	0 —	0 —	2	1	-
突発性発しん	0 —	1 0.50	0 —	0 —	-	-	-
ヘルパンギーナ	3 1.50	1 0.50	0 —	0 —	6	2	-
流行性耳下腺炎	0 —	0 —	0 —	0 —	6	2	3
急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-
流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-
無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎(小児科)	0 —	0 —	0 —	0 —	-	-	-
川崎病	0 —	0 —	0 —	0 —	-	-	-
不明発疹症	0 —	0 —	0 —	0 —	-	-	-

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況) ◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	○	—	
備考	RSウイルス感染症		

*「1.発生動向」の解釈について

- ・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数
- ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数
- ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

3. 栗原支所より

【 定点把握対象疾患 】

- ・新型コロナウイルス感染症は減少傾向です。
- ・手足口病は減少したが、警報レベル継続中です。

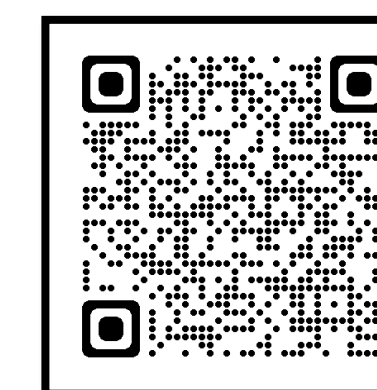
【 集団発生情報 】

保育施設でRSウイルス感染症の集団発生報告がありました。感染対策に努めましょう。

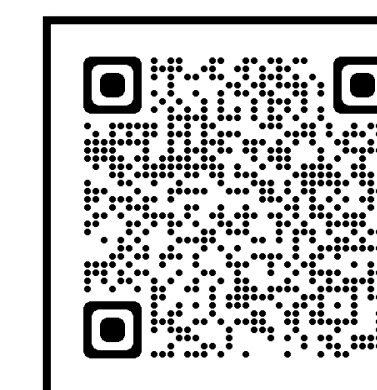
【 感染症コラム 】

～ヒトパピローマウイルス(HPV)と
尖圭(せんけい)コンジローマ～

- ・ヒトパピローマウイルス(HPV)6、11型などが原因となるウイルス性の性感染症です。
- ・男女ともに生殖器とその周辺に特徴的な形態(鶏のとさか、カリフラワー状のイボ)を示す病変を生じます。
- ・自覚症状はほとんどありません。
- ・自然治癒が多い良性病変ですが、パピローマウイルスの型(16, 18型)によっては子宮頸がんに移行することもあり経過観察が必要です。
- ・治療としては外科的処置(切除、液体窒素凍結法など)や軟膏塗布があります。
- ・本人が治癒しても、パートナーがウイルスを保持しているかぎり再感染の可能性があるため、パートナーも必ず専門医を受診し、症状があれば治療をすることが重要です。
- ・子宮頸がんの予防方法には、HPVワクチンを接種することで、がんの原因となるHPVの主な種の感染を予防することが挙げられます。
- ・小学校6年～高校1年相当の女子は、予防接種法に基づく定期接種として、公費によりHPVワクチンを接種することができます。



感染症情報 ←



性感染症検査 ←

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
☎0228-22-2117 📠0228-22-7594
HP:https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html